

EU・英国編

【10-1】 エコデザイン指令 (ErP 指令) 及びエネルギーラベル規則 —製品グループ別実施措置/委任法の改正・策定が再び活気付く — 製品系

全 7 ページ。詳細説明、リンクはサンプルのため省略している。

注) 本報告期間中、現行のエコデザイン指令 2009/125/EC に関わる法規制動向に加え、将来の「持続可能な製品のためのエコデザイン規則 (ESPR) 案」の審議が本格化してきた。本号ではこれらを分けて報告している。別項「EU 編 持続可能な製品のためのエコデザイン規則 (ESPR) 案」もあわせてご参照下さい。

法律/政策の名称	1. エネルギー関連製品 (ErP) のエコデザイン要求事項を設定するための枠組みを確立する 2009 年 10 月 21 日の欧州議会及び理事会 指令 2009/125/EC ... サンプルのため省略
現地語名称	1. DIRECTIVE 2009/125/EC OF THE EUROPEAN PARLIAMENT AND OF THE COUNCIL of 21 October 2009 establishing a framework for ... サンプルのため省略
公布/施行日等	1. 2009 年 10 月 31 日公布、2009 年 11 月 20 日発効 サンプルのため省略
カバー期間	2022 年 12 月初めから 2023 年 5 月終わり

バックグラウンド情報

■ エコデザイン指令 2009/125/EC は、EU 域内で使用あるいは販売の対象となるエネルギー関連製品 (ErP : Energy-related Products) を対象に、エネルギー効率をはじめとするエコデザイン (環境配慮設計) に関わる要求事項を設定するための枠組み指令である。... サンプルのため省略

■ 欧州委員会は 2022 年 3 月 30 日、「欧州グリーンディール」や「新循環型経済行動計画」に照らして現行のエコデザイン指令 2009/125/EC を抜本的に見直す内容の、「持続可能な製品のためのエコデザイン規則 (ESPR) 案」を発表した。サンプルのため省略

■ 欧州委員会は、ESPR の枠組みが整備されるまでは、現行のエコデザイン指令 2009/125/EC に基づいて、「エコデザインおよびエネルギーラベル作業計画 2022-2024」(2022/C 182/01) の実施を継続する。同作業計画には、下表のとおり、現行法の更新だけでなく、新たな製品グループを対象とする作業も含まれている。

作業の種類	対象製品グループ
現行法の改正	特に以下を優先して進める。 <ul style="list-style-type: none"> 冷暖房機器 (すべての規制対象製品の中で最もエネル

	ギー... サンプルのため省略
過去の作業計画の枠組みで新規調査対象に指定された製品	以下の製品を対象とする進行中の作業は、作業計画 2022-2024 に引き継がれる。 <ul style="list-style-type: none"> 携帯電話およびタブレット端末サンプルのため省略
作業計画 2022-2024 の枠組み...	<ul style="list-style-type: none"> 低温エミッター...サンプルのため省略

(出所：欧州委員会の情報をもとに EnviX 作成)

最近の主な動向

■ EU エコデザイン、エネルギーラベル、タイヤラベル現行施策の一覧表 (2023 年 5 月現在)

下表は、2023 年 5 月に欧州委員会が公表した一覧表の日本語訳である。

製品グループ ¹	施策の種類 ²			関連する法律/法令 ³
	ED	EL	VA	
1. 共通：枠組み法令	×			指令 2009/125/EC
サンプルのため省略				
31. ゲーム機			×	COM(2015) 178
合計：31種類の製品グループ (スタンバイを除く)	29	15	2	50

注：

1. タイトルは必ずしも対象製品のすべてを反映したものではないことに注意。

...

サンプルのため省略 (出所：欧州委員会)

■ スタンバイモード消費電力のエコデザイン要件を定める規則が公布・施行される

2023 年 4 月 17 日、EU 官報で「家庭用およびオフィス用電気電子機器のスタンバイモード、オフモード、ネットワークスタンバイモードにおける電力消費のエコデザイン要求事項を定める欧州委員会規則 [\(EU\) 2023/826](#)」が公布され、2023 年 5 月 8 日に発効した。現行規則 (EC) No 1275/2008 (最終更新は 2013 年) は 2025 年 5 月 9 日から、この新しい規則に置き換えられる。

...**サンプルのため省略**

● 主題 (第 1 条)

新規則は、家庭用およびオフィス用電気電子機器の上市または使用開始のための、以下のエネルギー消費に関するエコデザイン要求事項を定めている。

オフモード (off mode) ...**サンプルのため省略**

● 適用範囲

本規則で言う「家庭用およびオフィス用電気電子機器」または「機器」とは、附属書 II に記載されているエネルギー関連製品のうち、以下の条件を満たすものをいう (第 2 条 附属書 II: 本規則の対象となるエネルギー関連製品のリスト)

1. 家庭用として設計・試験・販売される家電製品
タンドル乾燥機とその他の衣類乾燥機、... サンプルのため省略
2.~5.はサンプルのため省略
6. モーター駆動の建築構成要素
シャッター、ブラインド、スクリーン、日よけ、パーゴラ、カーテン、ドア、ゲート、窓、天窗、その他のモーター駆動の建築構成要素

● エコデザイン要求事項 (第 3 条)

エコデザイン要求事項は、「エネルギー効率」、「機能」、「情報」の 3 項目に分けて、附属書 III に記載されている。

今後の展開とスケジュール

繰り返しになるが、ESPR の枠組みが整備されるまでは、現行指令 2009/125/EC に基づく「エコデザインおよびエネルギーラベル作業計画 2022-2024」の実施が継続されている。現在策定中の法律や政策については、公開されたイニシアチブ (欧州委員会の Have your say ウェブサイトの中の「[Published Initiative](#) (公開されたイニシアチブ)」上で確認することが可能である。当社の「EnviX 海外環境法規制モニタリング・サービス」でも最新情報をタイムリーに提供している。

EnviX 展望と見解

2020 年以降、製品グループ別のエコデザイン要求事項を定める実施措置やエネルギーラベル要求事項を定める委任法の改正や新規策定は停滞気味であったが、2022 年頃から再び活況を呈してきている。現在、「外部電源」、「タンドル乾燥機」、「スペースヒーター」をはじめとする 10 以上の製品グループで、現行法の見直し作業が進行中である。また、「イメージング機器」(コピー機、MFD、プリンター、ファクシミリ)に関しては、これまで業界の自主協定 (VA) の形でエコデザイン/エネルギーラベル要求事項が定められてきたが、欧州委員会はこの自主協定の更新を認めないとして、法律の策定を 2023 年 1 月に開始した。さらに、新しい対象製品グループとして、「モバイルフォンとタブレット端末」および「太陽光発電製品」向けのエコデザイン要求事項とエネルギーラベル要求事項を定める法律の策定も始まっている。将来の ESPR 案が関心を集めているが、関連する企業におかれれば、現行エコデザイン指令の枠組みでのこうした法規制動向にも、引き続き十分な注意が必要である。

【2023.05.30 et】

